

これからの水田農業で生産性と収益性を向上
させていくにはどうしたらよいか、考えます



第1回 水田輪作新技術フォーラム in 仙台

2026年
12月8日(火) 13:00~17:00

会場: フォレスト仙台 フォレストホール
(宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45)

参加無料

会場/
オンライン配信
(事前申込)

- ◆ 12:00 開場・受付
- ◆ 13:00 開会
- ◆ 13:00 基調講演
- ◆ 13:30 講演
- ◆ 16:00 パネルディスカッション
- ◆ 17:00 閉会

基調講演

プラウ耕鎮圧体系乾田直播を核
とした水田輪作の現状と今後の
普及展開

パネルディスカッション

省力化の先にある
”儲かる農業”を考える

水田輪作、乾田直播栽培に取り組む
生産者4名と熱く議論!

講演

選りすぐりの新技術・品種の紹介

- 東北地域での乾田直播栽培の普及拡大
- 水稻新品種「ZRシリーズ」
- 稲いもち病発生予測・斑点米カメムシ発生予測
- 大豆の湿害対策播種技術
- 小麦新品種「夏黄金」
- 東北地域におけるタマネギ産地化に向けた技術

体験ブース

Farming Simulator®
でバーチャルの農機を運転
してみませんか?



**申
込**

二次元バーコード又は
下記URLよりお申込みください
期限: 12月1日(火) 17:00



<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/rinsakuforum1>

問合せ窓口/ 農研機構 本部 事業開発部
地域連携プロジェクト推進課 竹内
TEL: 029-838-6959
Mail: naroforum_rinsaku@ml.affrc.go.jp

基調講演

プラウ耕鎮圧体系乾田直播を核とした水田輪作の現状と今後の普及展開

農研機構 東北農業研究センター スマート水田輪作グループ 主任研究員 篠遠 善哉

講演

■ プラットフォーム活動による東北地域での乾田直播栽培の普及拡大

農研機構 東北農業研究センター 所長 若生 忠幸

■ ZRシリーズを軸とした全農の「業務需要向け契約栽培」の取り組み

JA全農 米穀部 事業企画課 専任課長 遊田 善幸 氏

■ 稲いもち病発生予測・斑点米カメムシ発生予測技術の利用

株式会社ビジョンテック 取締役COO 藤澤 博司 氏

■ 宮城で実証！大豆湿害対策播種技術は東北で活かせるか

農研機構 事業開発部 地域連携課 主査 津野 洋之

■ 製パン性に優れた小麦新品種 夏黄金 ―品種特性、栽培とその利用―

農研機構 東北農業研究センター 麦育種グループ グループ長 池永 幸子

JA新みやぎ 松山営農センター センター長 一戸 勝史 氏

公益財団法人宮城県学校給食会 物資課 課長 富田 充雄 氏

■ 東北地域におけるタマネギ産地化に向けた技術 ―移植・直播・セット栽培―

農研機構 東北農業研究センター 園芸畑作研究領域 領域長 塚崎 光

JA全農 米穀部 事業企画課
専任課長 遊田 善幸 氏



令和8年4月より全農本所米穀部事業企画課へ配属。ZRシリーズを軸とした業務需要向け契約栽培の取り組みを推進している。

株式会社ビジョンテック
取締役COO 藤澤 博司 氏



農研機構の病害虫発生予測技術を実装した営農支援サービス「SAKUMO」「SANProSUKE(散布の助)」の事業開発を統括。産地・散布事業者への普及に取り組む。

JA新みやぎ 松山営農センター
センター長 一戸 勝史 氏



JAみどりの(現JA新みやぎ)入組。2019年まで水田作を担当し、「夏黄金」など新品種導入に尽力した。現在は営農センター長として地域農業の発展を支えている。

公益財団法人宮城県学校給食会
物資課長 富田 充雄 氏



宮城県内の学校給食用米飯、パン、牛乳及び献立食材を安定的に供給しており、円滑で充実した学校給食の実施を支援することを目的に活動している。

パネルディスカッション

(岩手県一関市)
農事組合法人プロファーマ
事務局 小野寺 清悦 氏



一関第1遊水地内で、スマート農業技術を導入し、労力の軽減を図りながら小麦・大豆と乾田直播きによる飼料用米・WCS及び水田の受託作業に取り組んでいる。

(宮城県石巻市)
農事組合法人たてファーム・和
総務部長 高橋 弘 氏



乾田直播栽培への取組が11年目となり、現在は水稻41ha、うち乾田直播を26ha作付。転作として大麦11haを含む大豆48haを栽培している。

(秋田県大潟村)
株式会社いがらし農産
代表取締役 五十嵐 雅敏 氏



秋田県大潟村で水稻・小麦・大豆を栽培。可変施肥や徹底した肥培管理で収量にこだわり、栽培技術に注力。「日本一AIを活用する農家」を目指し、農業アプリの開発や人材育成にも取り組む。

(福島県南相馬市)
株式会社飯崎生産組合
代表取締役 水谷 隆 氏



圃場整備地区の担い手として70ha(農地バンク契約100%)で水稻、大豆、タマネギ、子実トウモロコシの輪作体系を組みながらブロックローテーションで栽培している。